

全学共通基礎科目のコース構成図

【H25カリキュラム(H31入学生用)】

コース名称 及びコースの説明	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
(1)基礎科学コース				
自然科学の基本的知識を学習する。	基礎生物学	生物学実習	データ解析法	
	生命科学			
	化学			
	化学実習			
	物理入門			
	物理学	物理学実習		
	物理入門実習			
	基礎数学			
情報処理演習	統計解析演習			
(2)コミュニケーションコース				
国際語としての英語ならびに他の外国語、さらに言語以外のコミュニケーションについて学習する。	英語講読 I A	英語講読 I B	英語講読 II A	英語講読 II B
	実用英語A	実用英語B	英語(会話)A	英語(会話)B
	英語(SP I)A	英語(SP I)B	英語(SP II)A	英語(SP II)B
		文章表現法	独語A	独語B
			仏語A	仏語B
			中国語A	中国語B
			エンカウンター演習	
			手話・点字演習	
(3)人間形成コース				
人文・社会科学や行動科学において、幅広い知識と教養を学習する。	社会学	芸術	社会学から読む医療	
	経済学	憲法	社会の病理	
	哲学	茨城学	法と医療	
	教育学		バイオエシックス	
	学問の時代を創った人々		思想と宗教	
	臨床人間学シミュレーション		スポーツ科学実習	スポーツ・コンディショニング理論
	心理学	教育心理学		
	健康科学			
	保健・スポーツ I	保健・スポーツ II		
	保健・スポーツ(トリムコース) I	保健・スポーツ(トリムコース) II		

看護学科専門基礎科目・専門科目のコース構成

【H25カリキュラム(H31入学生用)】

コースの名称 及びコースの説明	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
(1)人間の理解と看護の基盤コース 看護の対象となる人間の全体像を理解し、看護を学ぶ上での基盤となる知識・技術を習得する。	人体の構造と機能Ⅰ	人体の構造と機能実習	臨床心理					
	人体の構造と機能Ⅱ	生涯人間発達Ⅰ		環境と放射線				
	国際保健医療活動	生涯人間発達Ⅱ		看護学基礎実習Ⅰ				
	看護学概論	セクシャリティと健康		看護情報論				
(2)看護実践の基盤コース 看護実践の基盤となる知識・技術・態度を習得する。		看護学基礎演習Ⅰ ヘルスアセスメント	看護過程論	看護学基礎実習Ⅱ		看護学基礎実習Ⅲ		
			看護学基礎演習Ⅱ 衛生・公衆衛生学	疫学・保健統計				
(3)健康障害と看護コース 健康障害をもつ対象の特性に応じた看護実践を展開する基盤となる知識を学習する。		健康障害の成り立ちⅠ 健康障害の成り立ちⅡ 人体の代謝と薬理 病原微生物と免疫	健康障害と治療Ⅰ 医科学総合科目Ⅰ	健康障害と治療Ⅱ 臨床栄養学	医科学総合科目Ⅱ			言語病理
(4)ライフサイクルに共通する看護コース ライフサイクルを通じた対象の特性に応じた看護援助に必要な知識・技術・態度を習得する。	リハビリテーション概論 精神看護学Ⅰ	地域リハビリテーション	障害者スポーツ	リハビリテーション看護論 精神看護学Ⅱ ウィメンズヘルス看護学Ⅰ	精神看護学Ⅲ ウィメンズヘルス看護学Ⅱ	精神看護学実習 ウィメンズヘルス看護学実習		家族看護学 がん看護
(5)ライフステージの看護コース 各ライフステージにある対象の特性に応じた看護援助に必要な知識・技術・態度を習得する。			成人看護学概論 成人看護学Ⅰ	小児看護学Ⅰ 老年看護学Ⅰ	小児看護学Ⅱ 成人看護学Ⅱ 老年看護学Ⅱ	小児看護学実習 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 老年看護学実習		
(6)地域社会の健康と看護コース 地域社会における健康問題に取り組むために必要な知識・技術・態度を習得する。			公衆衛生看護学概論	公衆衛生看護学活動論Ⅰ 社会サポートシステム論	公衆衛生看護学活動論Ⅱ 産業・学校保健 産業・学校保健実習		公衆衛生看護学実習 公衆衛生看護学演習	
(7)総合応用看護コース これまでの学習を応用し発展的に看護をとらえ、さらにすべての知識や技術、態度を統合し、新たな課題や解決の方向性を見出せる能力を習得する。			医療とボランティア活動	在宅看護学	看護管理学		在宅看護学実習 看護学総合実習 看護学総括演習 看護研究	看護と意思決定論 地域在宅理学療法学特論
(8)IPEコース 多職種連携の意義、理念を理解し、保健・医療・福祉の場において、多職種との連携や相互補完、協働する態度及び能力を習得する。	チームワーク入門実習 ※1			保健医療とチームワーク演習 ※1				チーム医療演習
				国際多職種協働実習(1～4年)				
	※1基礎科目							

理学療法学科専門基礎科目・専門科目のコース構成

【H25カリキュラム (H31入学生用)】

コースの名称 及びコースの説明	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
(1) 人体システムコース 理学療法の基礎となるヒトのからだのしくみとその構造と機能および発達から学習する。	人体の構造と機能	人体の代謝と薬理 生涯人間発達Ⅰ 生涯人間発達Ⅱ 人体の機能実習 人体の構造実習						
(2) 基礎保健医療コース ひとの健康や障害について、そして人を取り巻く環境も含め保健医療の基礎を学習する。	リハビリテーション概論	健康障害の成り立ちⅠ 病原微生物と免疫 放射線医学概論	臨床心理 医科学総合科目Ⅰ 保健医療福祉論 衛生・公衆衛生学 障害者スポーツ	精神問題と対応 環境と放射線	国際保健医療活動 医療とボランティア活動 医科学総合科目Ⅱ	セクシャリティと健康		言語病理
(3) 基礎理学療法コース 理学療法の基礎となる運動・動作やその構造および理学療法の基礎となる考え方を習得する。	人体構造学入門	基礎理学療法学 運動学 臨床体験実習Ⅰ	臨床体験実習Ⅱ			基礎理学療法学特論		
(4) 理学療法評価コース 理学療法の対象とする障害のとらえ方や測定方法を含め問題点の抽出方法とまとめかたを習得する。			理学療法基礎評価学	理学療法計画論 臨床実習Ⅰ				理学療法評価学
(5) 系統別障害コース 理学療法の対象となる障害の特性を系統別に学び、理学療法の対応方法を習得する。			筋骨格障害と対応 筋骨格障害理学療法学 神経障害と対応	内部障害と対応 脳血管障害理学療法学	内部障害理学療法学 神経障害理学療法学	生活支援理学療法学特論		呼吸ケア特論 ハンドセラピー
(6) 年代別障害コース 理学療法の対象となる障害についてライフサイクルに合わせて学び、対応する理学療法技術を習得する。			老年期障害と対応	小児期障害と対応	生涯発達支援理学療法学 老年期障害理学療法学			
(7) 理学療法治療技術コース 理学療法技術の基礎と応用について学び、実践を通じて評価・治療の介入方法を習得する。			理学療法基礎技術学		生活支援機器論 理学療法リスク管理	臨床実習Ⅱ 臨床理学療法学特論Ⅰ	総合臨床実習フィールドA・B	スポーツ理学療法学 応用臨床実習 臨床理学療法学特論Ⅱ
(8) 地域理学療法コース 理学療法の対象となる障害を生活する場との関連で学び、人がその地域で生活するために必要な理学療法技術を習得する。		地域リハビリテーション			地域理学療法学 生活環境論	地域理学療法学実習		地域在宅理学療法学特論
(9) 総合応用理学療法コース これまでの学習を応用し発展的に理学療法を捉え、さらにすべての知識や技術、態度を統合し、新たな課題や解決の方向性を見いだせる能力を習得する。						理学療法研究Ⅰ		理学療法学総括演習 理学療法指導論 理学療法研究Ⅰ 理学療法研究Ⅱ
(10) IPEコース 多職種連携の意義、理念を理解し、保健・医療・福祉の場において、多職種との連携や相互補完、協働する態度及び能力を習得する。	チームワーク入門実習 ※1			保健医療とチームワーク演習 ※1				チーム医療演習
	国際多職種協働実習							
	※1 基礎科目							

作業療法学科専門基礎科目・専門科目のコース構成

【H25カリキュラム(H31入学生用)】

コースの名称 及びコースの説明	1年次		2年次		3年次		4年次		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
(1)人間の理解と健康コース									
人体の構造とその機能、人体の健康に関するシステムを理解し、人体の健康に影響を及ぼす環境との関係について学習する。	人体の構造と機能	人体の機能実習 人体の構造実習 健康障害の成り立ちⅠ 人体の代謝と薬理 病原微生物と免疫 放射線医学概論	医科学総合科目Ⅰ 衛生・公衆衛生学	環境と放射線	医科学総合科目Ⅱ			言語病理 セクシャリティと健康	
(2)作業科学コース									
作業に焦点を当てた治療・介入の基礎となる知識と分析・評価および介入の基礎となる技能を習得する。	作業科学 基礎作業療法学演習 (集団・交流系)	作業科学演習 基礎作業療法学演習 (製作系)	作業機能評価学演習 障害者スポーツ			音楽活動演習			
(3)総合作業療法コース									
人々が自分らしく生きるため、自らにとって意味ある作業へ自ら参加できるよう支援するための知識を学習し、事例を通して実践の経験を積み知識と技能を統合する。	作業療法概論 リハビリテーション概論	作業療法体験実習			作業療法評価学演習 日常生活活動演習	作業療法管理学 作業療法評価実習	作業療法総合実習	作業療法理論 作業療法学総括演習	
(4)身体障害コース									
様々な疾患から引き起こされた身体障害に対する治療・介入に関する知識と技能を習得する。	基礎運動学(作業療法)	運動学(作業療法)	身体機能評価学演習 筋骨格障害と対応 神経障害と対応	内部障害と対応	身体障害作業療法治療学 内部障害作業療法治療学	身体障害作業療法治療学演習	ハンドセラピー		
(5)精神・認知障害コース									
様々な疾患から引き起こされた精神・認知障害に対する治療・介入に関する知識と技能を習得する。			臨床心理 精神・認知機能評価学演習	精神障害と対応	精神障害作業療法治療学 高次脳機能障害 作業療法治療学	精神障害作業療法治療学演習			
(6)年代別障害コース									
年代に応じた心身機能・作業遂行能力を高める治療・介入、環境調整による作業遂行能力を高める代償的介入に関する知識と技能を習得する。			生涯人間発達Ⅰ 生涯人間発達Ⅱ	老年期障害と対応	小児期障害と対応 小児期障害作業療法治療学 老年期障害作業療法治療学	小児期障害作業療法治療学演習 老年期障害作業療法治療学演習	小児臨床とイメージ論		
(7)地域支援コース									
疾患や障害の有無に関わらず、人が地域でその人らしく生活をするために支援に必要な知識と技能を習得する。	地域リハビリテーション		生活環境評価学 医療ボランティア活動			保健医療福祉論 国際保健医療活動 地域作業療法学	地域統合支援実習 応用地域作業療法学		
(8)総合応用コース									
作業療法学に関する発展的な内容や隣接領域の他の学問における見識を高めるための知識と技能を習得する。			作業療法研究法	学生研究Ⅰ				学生研究Ⅱ 研究エビデンスと実践	
(9)IPEコース									
多職種連携の意義、理念を理解し、保健・医療・福祉の場において、多職種との連携や相互補完、協働する態度及び能力を習得する。	チームワーク入門実習 ※1			保健医療とチームワーク演習 ※1			国際多職種協働実習	チーム医療演習	
※1基礎科目									

放射線技術科学科専門基礎科目・専門科目のコース構成

【H25カリキュラム(H31入学生用)】

コースの名称 及びコースの説明	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
(1)医療の基礎コース 診療放射線技師に必要なリハビリテーションや公衆衛生学的な観点及びメンタルヘルスについて学習する。	リハビリテーション概論	病原微生物と免疫	衛生・公衆衛生学 臨床心理 医科学総合科目Ⅰ 障害者スポーツ		医科学総合科目Ⅱ			
(2)基礎理工学コース 高度な技術への対応や診療機器の適切な取り扱い及び放射線の安全利用のために必要となる理工学的な基礎知識を習得する。	放射線物理学	応用数学 医用工学 計算機科学 放射線医学概論	医用工学実験					
(3)画像診断技術コース 撮影技術と画像診断技術の習得に必要な基礎知識について学習する。	人体の構造と機能Ⅰ 人体の構造と機能Ⅱ	健康障害の成り立ちⅠ 健康障害の成り立ちⅡ	画像医学 診療画像機器学 診療画像機器学実験	病態と画像Ⅰ X線検査技術学Ⅰ X線検査技術学Ⅱ 超音波検査技術学 磁気共鳴診断画像技術	病態と画像Ⅱ 超音波検査技術学実習 磁気共鳴診断画像技術学実習 X線検査技術学実習 救急画像検査技術学		先端画像検査技術学	
(4)核医学検査技術学コース 放射性同位元素による核医学の知識や技術について学習する。		放射化学 人体の代謝と薬理	放射線科学実験	核医学検査技術学Ⅰ 核医学検査技術学Ⅱ	核医学検査技術学実習		核医学機能検査学	
(5)医用画像情報コース 医用画像の成立に必要な画像形成理論を学習するとともに、医用画像の処理、解析及び評価についての手法を習得する。画像情報システムを含む医療情報システムの運用に必要な知識や臨床応用について学習する。			医用画像情報学Ⅰ 医用画像情報学Ⅱ	医用画像情報学実験			医療画像処理学 総合画像技術学	
(6)放射線治療コース 放射線治療技術の基礎になる放射線生物学や放射線計測学、各種疾患における治療法、照射技術、基礎的な放射線医学、放射線治療の臨床まで総合的に学習する。		放射線生物学	放射線計測学	放射線計測学実験 放射線治療技術学Ⅰ 放射線治療技術学Ⅱ	放射線治療技術学実習		腫瘍と放射線 総合放射線治療技術学	
(7)放射線の安全管理コース 放射線の安全管理のための計測技術や放射線防護技術、放射線診療における品質保証の概念及び意義について学習する。				放射線安全管理学 環境と放射線	放射線安全管理学実験		診療放射線品質保証管理学	
(8)総合応用コース 4年間の学習を総括し、医療人として必要なチーム医療ができる知識や技術及び態度を習得する。	(8)総合応用コース 医療と放射線技術 (臨床実習)					診療放射線技術学実習 (臨床実習)	コロキウム 放射線技術科学研究 パシエントケア論	放射線技術科学総括演習
(9)IPEコース 多職種連携の意義、理念を理解し、保健・医療・福祉の場において、多職種との連携や相互補完、協働する態度及び能力を習得する。	チームワーク入門実習 ※1			保健医療とチームワーク演習 ※1				チーム医療演習
				国際多職種協働実習				

※1基礎科目